### 企業活動への影響が予測される要因

当社では、自社を取り巻く外部環境を踏まえ、 主な「ポジティブインパクト」と「ネガティブインパクト」を 以下のように想定しております。

# 地球環境の 変化

**FACTOR** 

- 気候変動・異常気象
- ・水資源の枯渇
- プラスチックごみ問題

地球規模の環境変化は、当社の 事業の源泉である豊かな水資源 や自然の恵みの持続性に対して 深刻な影響を与えうる長期的な 課題と考えています。

また、近年急速に問題となって いる、気候変動に伴う異常気象の 常態化やプラスチックごみ問題 は、当社のビジネスモデルに直接 的・間接的な影響を与える課題と なっています。

**FACTOR** 

## 社会インフラの 変化

- 規制強化
- サプライチェーンの課題
- 技術革新

飲料業界を取り巻く社会環境の 変化の中、当社では、世界各地で の有糖飲料に対する規制、先進国 を中心とする原材料費やサプライ チェーンコストの上昇などを、中長 期的な課題として捉えています。

一方、消費者の無糖・低糖飲 料へのシフトによる新たなビジネ スチャンスや、AIやICTなどの分 野での技術革新により、新たなビ ジネス形態やより安定的な製造 や需給管理、生産性の向上が実 現しうることを機会として捉えて います。

**FACTOR** 



## ライフスタイルの 変化

- 少子高齢化
- 健康志向の高まり
- 飲み場・買い場の多様化

少子化・高齢化は飲料業界にも構 造変化をもたらしつつあります。 "人生100年時代"ともいわれるよ うに先進国を中心に平均寿命が 伸長するなか、健康志向が高まり、 当社のもつ低糖・無糖飲料や特定 保健用食品および機能性飲料な どにおける知見や技術を活かせる 可能性が広がりうると考えます。

また、ライフスタイルが多様化す る中、お客様が飲料を買う・飲むオ ケージョンも多様化すると考えて おり、新たな価値提案のチャンス と考えています。

### マテリアリティ(重要テーマ)の明確化

サントリー食品インターナショナル(SBF)は今後のサステナビリ ティ活動における重点領域をより明確化させるため、「持続可能な 開発目標(SDGs\*)」の観点より、重要課題分析を実施しました。

SDGsを踏まえたグローバルトレンドを基盤とし、投資家をはじ めとするSBFグループのステークホルダーにとっての重要性と、中 長期経営戦略における機会とリスクの観点から分析を実施、第三 者機関による評価・検証を経て、SDGsの17目標のうち、目標6 「水・衛生」、目標3「健康・福祉」、目標8「働きがい・経済成長」、目 標12「責任ある生産・消費」、目標13「気候変動対策」の5つを重 要度の高い取り組み目標(課題)とし、今後活動を深化させてまい ります。

その中でも特に、「水と生きる」を掲げる企業として、社会にとっ ても、私たちの事業活動にとっても必要不可欠である「水」を守る ことが最重要テーマであると認識し、引き続きグループー丸となっ て水への取り組みに注力していきます。

#### 重要課題に対するSBFグループの活動

「水」を中心とした重要課題に対しては、SDGsの169のターゲット を参照しながら、バリューチェーン全体で取り組む認識のもとで検 討を進めます。今後は以下を中心とした活動を強化していきます。

#### 重要課題マトリックス



※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月に国連サミットで採択された、 2030年までに全世界が取り組むべき目標(Sustainable Development Goals) のことです。

#### SBFグループにとっての重要テーマ



重要課題	取り組みキーワード	強化していく活動例	
<b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に	<ul><li>水使用効率の改善、持続可能な採水、水不足の対処</li><li>汚染の減少、未処理の排水の削減、水質改善</li><li>森林等の水に関連する生態系の保護及び回復</li></ul>	生産拠点を中心とした「水の3R」	p48
		水源保全における地域社会との協働	p49
3 すべての人に 健康と福祉を —─────	<ul> <li>お客様ニーズにあった"ナチュラル&amp;ヘルシー"な 商品ラインナップ拡充</li> <li>健康リスクの早期警告及び緩和能力を強化</li> </ul>		p52
		"ナチュラル&ヘルシー"ポートフォリオの拡充	
8 機をがいる 経済成長も	<ul><li>人材の多様化や技術革新を通じた経済成長</li><li>地域を超えた人材開発</li><li>柔軟な働き方の推進による生産性向上</li></ul>		
		キャリアディベロップメント、ダイバーシティ経営の推進	p53
12 つくる 東任 つかう責任	<ul><li>資源の持続可能な管理、効率的な利用促進</li><li>持続可能な開発、自然と調和したライフスタイルに関する情報発信と意識づけ</li><li>食品ロス減少</li></ul>	「2R+B」戦略に基づくペットボトル容器開発	
		CSR調達	p51
		廃棄物削減、再利用	
13 気候変動に 具体的な対策を	<ul><li>気候変動対策の戦略・計画化</li><li>気候変動対策に関する教育・啓発</li></ul>		
		バリューチェーンでのCO₂排出量削減	p50